

令和4年度 施政方針

私たちと新型コロナウイルスとの闘いが始まり2年以上が経過いたしました。その間、市民や事業者の皆様には、不要不急の外出の自粛や休業など、繰り返される制約に対してご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。また、感染拡大を防ぐため、日々ご尽力いただいている医療従事者をはじめとする関係者の皆様に改めて深く敬意を表します。

現在も、市民の皆様には多くのご心配とご不便をおかけしておりますが、皆様の暮らしを守り、活力と安心を取り戻すことができるよう、新型コロナウイルスの感染拡大防止と経済活動活性化の両立を目指し、市民の皆様の声に耳を傾けながら、スピード感を持って、引き続き必要な支援策を講じてまいります。

3月26日には、スマートインターチェンジが刈谷ハイウェイオアシスにおいて開通いたしました。周辺道路の整備と併せ、産業の生産性向上や交通渋滞の緩和、周辺地域の活性化などが期待されます。

また、今年度には感染症による社会情勢の変化などを踏まえて「第8次刈谷市総合計画」を策定いたします。本市の最上位計画として、先人たちの意思をしっかりと受け継ぎながら、未来を切り拓く計画としてまいります。

将来にわたって持続可能なまちづくりを推進する上で、脱炭素社会の実現は不可欠であると考え、2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指してまいります。目標の達成に向け、広域連携による地域新電力会社の設立や再生可能エネルギーの活用のほか、事業者と連携した取組などを進めてまいります。

終わりの見えないコロナ禍という状況を、本市の潜在能力を発揮する好機と捉え、ウィズコロナ・ポストコロナを意識しながら、デジタル化や脱炭素社会の実現に果敢に挑戦することで、新しい日常「ニューノーマル」に対応した持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

新年度も、市民の皆様が安心して“元気”に住み続けられ、“笑顔”に満ちあふれ、未来へ“希望”が持てるよう、バランスよく施策を実施してまいります。



刈谷市長 稲垣 武

まちづくりのキーワード

「元気・笑顔・希望のまちづくり」

守ろう！安心安全と健康…安心して暮らせるまちづくり
育てよう！子どもと未来…未来に希望が持てるまちづくり
輝こう！暮らしと仕事…魅力と活力にあふれるまちづくり